

## 平成 28 年度 第 2 回岡崎市国際化推進委員会議事録

- 1 日時  
平成 28 年 11 月 4 日（金） 午後 2 時～午後 3 時 30 分
- 2 場所  
市役所東庁舎 2 階大会議室
- 3 出席委員（敬称略）  
委員長 安藤 充  
副委員長 川崎 直子  
委員 小久井 正秋、井上 登永、戸田 暁子、伊東 浄江、宮澤 祐子、  
宮澤 会美香、河田 元子
- 4 欠席委員（敬称略）  
山田 珠樹
- 5 傍聴人  
1 人
- 6 事務局  
地域支援担当部長 梅村 達也  
国際課 課長 太田 義男、班長 鈴木 温子、主任主査 竹谷 昌祐、  
主査 石原 有城、事務員 安藤 美咲
- 7 議題  
岡崎市の多文化共生の現状について
- 8 議事要旨  
司会の国際課長が開会を宣言。地域支援担当部長の挨拶に続き、岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領に従い本会議の公開を説明。本委員会設置要綱第 6 条第 2 項の規定に基づき本会議が有効に成立している旨を報告。議長を務める安藤委員長により議題の審議が進められた。

## 議題1 岡崎市の多文化共生の現状について

事務局 : 岡崎市の多文化共生の現状について説明。

委員長 : 委員のみなさんから御意見・御質問はありますか。

D委員 : 外国人研究者等が多い自然科学研究機構で出前講座をされたことは、意義があることだと思います。機構には、どのような外国人の方が在籍しているか知っている範囲で教えてください。

B委員 : ロータリークラブで交流していて、外国人研究者等を招待してバーベキューを毎年行っています。ほとんど英語での会話となります。多様な国籍の方がいます。以前は欧米圏が多かったですが、今はアジア系、南米系の方が多い印象があります。単身よりも家族で来る方が多いです。

委員長 : 家族連れの方は家族のサポートも必要ですね。

G委員 : ベトナム人が増えているということですが、例えば国籍によって生活不便を感じていることが違うのでしょうか。情報を教えていただければ民生委員の中で共有したいと思います。地区民協での情報収集は、有意義なことだと思います。今後の予定を教えてください。リッスンラジオアプリや生活ガイドブックのチラシはどのくらい知られていますか。学校に配布するなど周知方法を工夫するとよいと思います。防災緊急メールのやさしい日本語の表現について、「あなたの体を守ってください。」がどう守ったらいいいのか分かりにくいいため、「あなたの体の安全を守ってください。」とするとイメージがわきやすいと思います。

事務局 : 国籍別の困りごとについては、きちんとした形で情報収集できていません。今後意識して調べたいと思います。すぐに思い浮かぶこととして、少数言語の方は、その言語で書かれた情報が少ないことから、情報の収集に苦労していると感じています。ボランティア団体のおかざきニュースがベトナム語版の情報誌を発行したところ中日新聞に掲載され、問合せが多かったです。地区民協は、外国人が多い地区から順番に回っています。少しずつ広げていきたいと思っています。チラシは現在市ホームページに掲載していますが、よりよい周知方法を検討したいと思います。よりよい表現を検討します。

B委員 : 単身の方に情報がうまく行き渡らないなどの課題があると考えますが、単身の方を対象に出前講座を行うことを検討してみてもはどうでしょうか。

E委員 : (単身で来日する)技能実習生が増えていると思いますが、雇用主の業務に技能実習生の生活のサポートも含まれていたと思います。生活支援員を配置している雇用組合などと情報交換しながら、行政がどこまで何をすべきか検討することが重要です。すべて行政がやることではなく、企業の責任もあります。

先ほど出た国籍による違いという点では、ブラジルの方は家族連れで生活

している方が多いことから、教育や出産、高齢化など生活上の色々な問題があると思います。技能実習生は、仕事をする上でのトラブルなどがあると思います。その辺を分けて考えるといいと思います。

H委員 : 自然科学研究機構での出前講座の主催はどこですか。

事務局 : 市と機構の共催です。国際課から外国人が所属する機関との連携の一つとしてお声掛けし、お互いのニーズが一致したため開催することになりました。

H委員 : 地元にある企業で外国人を多く見かけます。民間企業が市に出前講座を依頼することはできるのでしょうか。

事務局 : 市の国際課で、外国人の行政手続きの情報などを伝える出前講座を行っていることを皆さんに知ってもらいたいと考えています。企業から出前講座の要請があれば内容を調整して、開催します。一方、こちらから企業をリサーチして、声をかけるのは難しいのが現状です。

C委員 : 技能実習生のゴミ出しなど生活面は、雇用している会社が面倒を見ています。ベトナム人の技能実習生を雇用していますが、ゴミの分別については、協同組合が作成したベトナム語資料を活用することでルールが守られています。また、寮では生活上のルールを契約の時にしっかり確認しています。生活面の苦情はほとんどありません。ベトナム人の気質として、情報に敏感なところがあります。母国で日本語授業と一緒に受けた仲間ネットワークがあるようです。

H委員 : 日本語教室などの外国人向け情報はどのように周知していますか。

事務局 : 各所へのチラシの配布、りぶら国際交流センター前の掲示板、口コミなどで周知を図っています。また、おかざきニュースは、市内の小中学校等の公共施設に送付されています。

H委員 : 子どもを通して親に働きかけるのが近道だと思います。新聞記事で読みましたが、愛知県が行っている「子育て外国人の日本語習得モデル事業」は、目の付け所がすばらしいと思いました。

F委員 : 親だけに日本語教室に来ていただくことは難しく、「子どもさんの将来のために」などと呼びかけると、来てもらうきっかけになると思っています。

H委員 : 事務局の説明で生活情報をまとめた外国人向けの冊子という案が出されていました。以前海外で生活していた時に、学校のPTAが発行する冊子を常に手元に置いて活用していました。手紙の出し方、電話のかけ方、病院、日本食の食材店、習い事の教室など生活に密着した情報が掲載されていました。また、当時よく活用したのは、日本食材店の掲示板に貼られていた生活情報でした。スーパーマーケットや学校など生活に密着したところをターゲットに情報を発信できると効果的だと思います。

事務局 : 外国人向けの冊子についてですが、以前に岡崎南ロータリークラブが作成した ” key ” という冊子があります。市が発行する場合は、民間企業の宣

伝につながる内容は掲載できませんが、これに近い内容のものを将来的に発行できたらいいと考えています。また、情報発信の切り口を工夫するとよいとの御意見を参考にさせていただきます。

C委員 : スーパーマーケットなど商店に協力を依頼するには、商工会議所に話を持っていくやり方があると思います。

A委員 : コミュニティ通訳員の設置基準を改めて教えてください。 外国語のごみ出しの案内看板の設置状況は把握していますか。 防災緊急メールのやさしい日本語の訳については、特別警報の「数十年に一度」という緊急性が伝わらないかもしれません。経験したことがない現象が起きる可能性があることが伝わる表現を検討したほうがいいと思います。

事務局 : 設置基準は、公営住宅では、外国人は20人以上かつ20%以上、町内会では100人以上かつ10%以上です。 ゴミステーションの可燃ごみ、不燃ごみ等の表示は、多言語表示されています。その他の注意事項は、総代から依頼を受けた場合、翻訳を行っている状況です。 翻訳については、伝わる表現を検討したいと思います。

E委員 : やさしい日本語を検討するに当たっては、いろいろな日本語能力の外国人が集まる機会をとらえて、その意見を聞きながら検討するのが現実的だと思います。

F委員 : おかざきニュースによる情報提供やコミュニティ通訳員について説明がありました(フィリピン語には対応していない状況)。国籍別にみるとフィリピンが2番目に人口が多い状況ですが、フィリピン語に対応してほしいとの意見はありますか。通訳等を見つけるのが難しい状況でしょうか。

事務局 : 外国人の多い町内会の町総代に意見をお聞きするとフィリピン語対応の要望が今のところないという印象があります。要望があれば対応を進めたいと思っています。また、何とか英語が通じる方が多いこと、日本人と結婚することが多いことも要望が少ない一因かもしれません。

E委員 : 学校で両親ともフィリピンの子どもが増えています。日本語も英語も通じない家庭が珍しくない印象があります。

A委員 : 最近フィリピンとペルー、フィリピンとブラジルといった組み合わせのカップルが増えており、夫が必ずしも日本人ではないので、情報がスムーズに届けられているか懸念があります。

委員長 : 今年度行政で積極的に情報収集をしていただきました。それに対して委員の皆様から、企業と行政との協働といった視点など、様々な角度から示唆に富んだ御意見をいただきました。できるところから積極的に取り組んでいただきたいと思います。